

# 日本における近代国家建設過程の研究

キーワード[国家史, 人物史, 井上馨, 大久保利通, 大隈重信]

准教授 小幡 圭祐



国家意思決定印の「検」印が捺された廃藩置県詔の原議(国立公文書館所蔵)



これまでに刊行された単著・共著

## 内容:

明治新政府の発足から大日本帝国憲法の制定に至る過程は、ややもすると朝令暮改などといった言葉で説明されがちですが、そのような度重なる制度改編の様相を串刺しにし、一連の近代国家建設過程として理解しようとするのであれば、国家建設に極めて重要な役割を果たした人物(えてして薩摩藩・長州藩など雄藩出身の政治家が該当します)の考え方から説明するのが最も近道といえます。ゆえに、井上馨・大久保利通・大隈重信・伊藤博文・渋沢栄一など、国家建設に関与した人物の思想の分析を通じて、現代日本の直接的起源である近代国家の建設過程を明らかにすべく研究しています。

研究手法としては、現存する当時の史料を可能な限り博搜し、それらから歴史像を構築するという歴史学の伝統的な方法に加え、押印・署名・文書形式など、文字情報にとどまらない視覚情報を駆使する史料学的方法論も活用しています。

## アピールポイント:

共同研究の実績もありますのでお気軽にお声掛けください。また、研究成果を発信するために、講演・公開講座なども積極的に行っております。テーマなどはご要望に応じてアレンジ可能です。

分野: 歴史学、地域アーカイブズ学

専門: 日本近現代史

E-mail : obata@human.kj.yamagata-u.ac.jp

Tel : 023- 628-4216

Fax :

HP : [https://researchmap.jp/keisuke\\_obata/](https://researchmap.jp/keisuke_obata/)

